



## プレスリリース - 速報

### 半導体模倣品対策に向けた税関専門家会議

**济州島(韓国) (2009年9月24日)** : 税関専門家が集まって今週開催された半導体模倣品に関するワークショップで出された結論を世界半導体会議(WSC)が称賛した。

このワークショップは半導体に関する政府/当局会合(GAMS)に伴い、9月21日と22日の両日に中国、チャイニーズタイペイ、EU、日本、韓国、米国の税関専門家/担当官及び各国の業界と通商担当省の代表者が参加して開催されたものである。

開催国の主催者としての韓国とともにワークショップの議長は EU が務め、EU 代表団の **Henk Molegraaf** 団長（税制・関税同盟総局）が以下のように締めくくった。

「ますます広がる半導体模倣品の問題について、高い専門知識をもって大変率直に取り組んでいるうえに意見交換や協力の意思も旺盛であり深い感銘を受けた。半導体模倣品の問題は世界各地が何らかの形で被害を受けている世界的な問題であることは明らかである。今回の会議は、半導体模倣品の問題にグローバル・レベルで協力して取り組む重要な第一歩であり、すべての参加者から今後もさらなる対策を講じる意欲が感じられる。」

会議では、問題の範囲、半導体模倣品が社会や経済に与えるリスクとその結果、国内の取り締まり手続きに関する説明、半導体模倣品の問題を解決するために現在行われている取り組み、半導体模倣品を阻止するために考えられる「具体的対策」について討議された。

2008年5月にWSCの半導体企業のCEOからなる代表団から「模倣品の問題は世界中で増加の一途であり、半導体業界もこの拡大する脅威の例外ではない。そして、その影響は半導体企業のIPや商標権侵害にとどまらない。最終製品に使用される半導体の数が増えていく今日の市場で半導体模倣品が広く出回ると一般市民の安全が脅かされ健康被害が生じる。」という問題を提起していたが、今回、その問題に応える形で税関専門家から共同報告書(添付)が提出された。

WSC とその加盟団体に関する詳しい情報については以下を参照されたい。  
<http://www.semiconductorcouncil.org>

#### 連絡先:

欧州の半導体産業協会 : Martin Spät, +32 2 706 86 00

中国の半導体産業協会 : Louisa Lu +86 10 68208 589

チャイニーズタイペイの半導体産業協会 : Julie Wu, +886 3 5913477

日本の半導体産業協会 : Toshio Hara, +81 3 5275 7258

韓国の半導体産業協会 : Steve Hong, +82 2 570 5234

米国の半導体産業協会 : Daryl Hatano, +1 408 573 6605

韓国にて、2009年9月22日

## 共同報告書

### 税関専門家による半導体模倣品対策ワークショップ 2009年9月21日から22日、韓国にて

#### 模倣品の問題に対応する半導体メーカー

半導体模倣品に伴う問題の解決に向けて半導体の6大生産国/地域すべての代表者が初めて一堂に会した。2009年9月21日と22日の両日、中国、チャイニーズ台北、EU、日本、韓国、米国の税関専門家及び各国の業界と通商担当省が韓国で会合を開いたのである。

半導体模倣品は関係企業の経済だけでなく重要インフラにとってもますます脅威になっている。現在、携帯電話や車のブレーキ系から医療用品、衛星に至るまで、業務用製品であるか一般消費者向け製品であるかを問わず、その中核部分にある実現技術の多くをますます半導体が支えるようになっている。

税関専門家は、知的財産権の保護と取り締まりに取り組むことを改めて確認し、半導体模倣品に対する戦いで得られた経験とベストプラクティスを輸出入両面の税関取締という観点から報告しあった。また、政府間の共同行動や産官協力の増加についての発表があった。さらに、物理的・電子的な面から半導体模倣品を見抜く方法、模倣品防止の具体策、税関の中心的役割についても意見交換が行われた。

模倣品であることが疑われる製品を税関が円滑に発見するには、半導体業界から製品・プロセス情報を得られることがいかに重要であるかについて参加者全員が力説した。

適切に(国内、二国間、多国間で)半導体模倣品の取り締まりを実施すること、他の加盟メンバーと情報共有を図ること、2011年のGAMS会合で報告を行うことで参加者全員の意見が一致した。

#### 背景:

「半導体に関する政府/当局会合」(GAMS)は1999年に設立された。メンバーは、中国、チャイニーズ台北、EU、日本、韓国、米国の政府及び当局である。GAMSのメンバーは、各極の業界団体が加盟している世界半導体会議(WSC)と毎年会合を開き、世界の半導体業界にとって重要な貿易、環境、知的財産、法規などの分野のテーマについて話し合う。2008年9月にリスボンで開催されたGAMS会合では、半導体模倣品の蔓延を防ぐ世界的取り組みを推進するために加盟各国の税関専門家を集めて会合を開催することが決定されていた。

2008年、世界の半導体市場は約1700億ユーロであった。半導体業界は、情報技術や自動車、電気・機械、医療機器といった部門の様々な技術の進歩の根幹を支えている。